

議事要旨	会議名：北九州 ESD 協議会・令和3年度第3回運営委員会		
日時	令和3年9月22日(水) 18:00～19:30	会場	オンライン
配布物	<ul style="list-style-type: none"> ・「2021 北九州 SDGs 未来都市アワード」審査について(案) ・2021 北九州 SDGs 未来都市アワード本選選考委員一覧(案) ・2021 北九州 SDGs 未来都市アワード審査基準及び配点について ・2021 北九州 SDGs 未来都市アワード予備選考及び本選考(書類審査)審査表 ・チーム活動推進事業審査票(総括) ・チーム活動推進事業審査票(事業別) ・「運営委員会の在り方」について ・北九州ゆめみらいワーク 2021 ・インドネシア、スラバヤ市との「オンライン環境ワークショップ」チラシ 		
出席者	所属	氏名(敬称略)	
	北九州 ESD 協議会運営委員会	日高京子・渡辺いづみ・三宅博之・川島伸治 上永陽一・服部祐充子・原賀いづみ・佐藤信幸・岩谷かおり 北九州市：稲田佳代子・安田絵里 事務局：高橋誠一・山中美鈴 オブザーバー：下田泰奈	
陽 宗	【議題】 1 「2021 北九州 SDGs 未来都市アワード」審査について 2 「令和3年度 チーム活動推進事業」審査について 3 ESD 協議会「運営委員会の在り方」について 4 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・議事要旨に運営委員名の標記について 【報告】 1 各プロジェクト報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ステークホルダー活動推進プロジェクト ・ブランディングプロジェクト ・人材育成・発掘プロジェクト ・調査研究・国際プロジェクト ・イベントプロジェクト 2 事務局報告 <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、市民センターへの出前講演 ～講師(ユース) ・団体会員活動内容(令和2年度)の配布について ・インドネシア、スラバヤ市との「オンライン環境ワークショップ」 ・ESD-J オンラインセミナーについて 3 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・「まなびと ESD ステーション」の臨時閉館について 		

<p>議題 1</p>	<p>1 「2021 北九州 SDGs 未来都市アワード」 審査について</p> <p>環境学習課：10月6日まで募集を行っている。予備選考は昨年と同様に10月下旬～11月中旬に引き受けていただける運営委員を募集する。</p> <p>本選考（選考会）は、1月上旬～2月中旬で、市民・企業部門からSDGs大賞各1団体、SDGs賞各4団体、市民部門からESD賞2団体を選定する。</p> <p>本選考委員は、各区分（教育関係者、市民団体、経済界、公的機関）から昨年同様に9名。（別添 2021 北九州 SDGs 未来都市アワード本選考委員一覧（案）を参照）</p> <p>委員長：全運営委員が予備選考委員を引き受けるという事でいいか。</p> <p>委員：異議なし。</p>
<p>議題 2</p>	<p>2 「令和3年度 チーム活動推進事業」 審査について</p> <p>事務局：このチーム制は、ESD活動を「広める」「伝える」ための事業。4団体から申請があり、申請内容は事業効果なども分かりづらい部分もあるかもしれない。しかし、協議会として、ESD活動を「広める」「伝える」ために頑張ってくれている団体である。しかも多くの委員が「賛成」あるいは「条件付き賛成」という評価である。</p> <p>委員：事務局が紹介したもののほかに、総括のページの下にも意見がある。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">運営委員がこの企画に対して「審査」をすることに違和感を覚えています。みなさんの活動がESDに関連する活動であることがわかれば、あとは、事務局で予算の割り振りを考えていただいて、その予算の範囲内で実施していくことでよいと感じています。</p> <p>運営委員がこういうことを審査しないのであれば運営委員は一体何をするのかと、非常に素朴に疑問を感じた。</p> <p>事務局：これは、一運営委員からの意見である。事務局としては、ESD活動を広めよう、伝えようという意欲があって申請された団体には大いにESD活動を伝えていただき、事務局が予算の範囲内で予算を割り振って、事業を実施していくことでいいのではないかと思っている。しかし、虚無申請や不正な申請であってはならないので、そこは事務局でしっかりチェックし、決算報告書等の提出を求めていく。</p> <p>委員：私たち運営委員はどういう役割を果たすのか。</p> <p>委員長：今後、審査をやっていくのか、あるいは活動を広めるところだけを見て、不備がなければ、みんなで認める方向に行くのか、どちらかということだが、どうするか。</p> <p>委員：チーム制は初めての話なので、いろんな課題や疑問が出てくると思うが、今の段階では運営委員の意見を聞きながら、ブラッシュアップしていく。最終的には多数決が妥当かと思う。</p> <p>委員：今回の申請は、資料的な不備などところがあるかもしれないが、やってみようという気持ちが非常にある。実際に進めるときは、運営委員の意見を参考にしながらこの4件とも実施して欲しい。</p> <p>委員長：では、全員がこれを審査すること自体についてはいかがか。</p> <p>委員：まず皆で申請を共有する場として審査した後、結果がどのように変化したかを見るようにすればいい。</p>

<p>議題3</p>	<p>委員長：今回の審査について、4件承認するという事によろしいか。</p> <p>委員：募集要項には、新しい協働のもとで活動をやるという内容になっており、「ツキイチの集い」は目新しいものではなく、この募集要項に沿ったものになっていない。また、市民センター等との協働になっているということだが、それは「ツキイチの集い」の中のただ1回だけで、他は大前提となる協働になっていない。</p> <p>チーム制はまだ始まったばかりで、これから運営委員の方で審査し、しばらくは様子を見る必要があるかと思う。</p> <p>委員：只今の意見の「協働」については、今後積み上げていながら、模索し、道を開いていかなければならない。今現在まで積み上げてきたものがあり、そこから発展させるという可能性は含んでいると思う。この4つの申請について、今いただいた意見を、注意事項としてそこを考えながら活動を進めていってはどうか。</p> <p>委員：審査自体については問題ないと思っている。予算の問題で、チーム制の予算が、各チーム10万だったのか確認したい。もし、10件出てきた場合に、結局、優劣がつかなかった場合はどのようにするのか。</p> <p>事務局：1事業原則10万円を上限と考えている。</p> <p>委員長：では、皆さんの意見から、審査自体は運営委員がやるということで概ね意見が一致したようだが、今回の申請のあった4件を全て通すかについて意見が少し分かれているので、採決を取りたいと思う。全て通すという方は挙手をお願いします。</p> <p>(挙手確認)</p> <p>委員長：2人以上は4件通過に賛成ということで、多数決により通過とする。それぞれの代表の方に、条件つきで意見を反映した形で頑張ってくださいということにしたい。</p> <p>委員：運営委員会や総会では、事務局は予備費から予算を出すと説明していた。ところが、資料には、コロナの影響で中止になった事業費を流用すると書いてある。総会や運営委員会で決まった通りにしていただきたい。</p> <p>事務局：6月の総会の段階では、まだ今年度の執行残がわからない状況であるため、予備費から出すといったが、9月末で、ある程度執行残が見込める事業があり変更した。</p> <p>ESD協議会の事務局規程の中で、50万円以下の執行については、事務局長の権限で予算執行ができるということになっており、それに基づき変更した。</p> <p>委員：では、事務局の規程や経理規程というものを今度出していただけませんか。</p> <p>我々は運営委員会としてそれを分かってなければいけないと思う。</p> <p>事務局：事務局規程、経理規程があり、事務局でお見せする。</p> <p>3 ESD協議会「運営委員会のあり方」について</p> <p>事務局：運営委員会のあり方について、前回は運営委員会の時に、皆様の意見を資料（「運営委員会の在り方」について）で説明。</p> <p>委員：運営委員会のあり方とは変わるが、この前、北九州環境ビジネス推進会の幹事会で、今後北九州市からの（ESD協議会への）予算が削られていく状況で、企業も積極的に参加して（協議会に）お金を出すような形が考えられないかと提案した。その中</p>
------------	--

で、今、企業では SDGs をやっているが、ESD と SDGs はどのような関係があるか、質問を受けた。ESD の認知度調査は、ずっと 1 桁ぐらいしかない一方で、企業は SDGs に非常に親和性があり、北九州市でも企業の SDGs の登録制度が始まり、市の仕事もスムーズに行くというようなこともある。なぜ SDGs と ESD を分けているのか、SDGs の活動の中に ESD を取り込んだら何の問題があるのか、別々に分けてやる必要があるのかと言われている。できれば運営委員会でもう一度整理、検討していただき、市も、今検討などされているのであれば、お聞かせいただきたい。

環境学習課：市としては、環境局をはじめ、SDGs の取りまとめをしている SDGs 推進室のある企画調整局、市民文化スポーツ局、保健福祉局などあらゆる部局で SDGs を取り組んでいる状況である。ESD と SDGs が別々になっていることで、協議会の会員や市民の方からわかりづらいというご意見もいただいている。

他の自治体では、SDGs の先進都市の岡山市などは、ESD、SDGs の部局が一緒になって推進しており、大牟田市でも教育委員会の方が率先して、ESD、SDGs を促進している。

協議会の運営において、市が負担金を出し、協働して一緒にやっているが、このように部局が分かれている状況でまとまらないところがある。ご意見について、整理する必要があるが、市の組織は、すぐ変わるものではない。今後、時間をいただき、検討していきたい。

委員長：この件については市の出方等、もう少し方向性が分かってから、その上で運営委員会を見直すということにしたいと思うが、いかがか。

委員：ESD を無視しているということではなく、これまで北九州市として非常に頑張ってきた ESD の歴史がある。私も以前の「国連の 10 年」の時から携わっており、よくわかっている。ただ、ずっと ESD が浸透しないところに、SDGs が出てきて、なおさら分からなくなってきた。SDGs の中で ESD というものは、それを支える一つになるのだが、SDGs の中で ESD をやっていくことが、企業にも分かりやすいように、市役所が検討しているのであれば、それを聞いた上で、運営委員会の形を検討した方がよいと思う。

委員長：もう少し時間を、ということである。よろしいか。

各委員：了解した。

委員：私も ESD のことを SDGs 教育と呼んでいる。ただ、SDGs とビジネスの違いを、本当にとらえているかを懸念している。それぞれの企業がバラバラにやっているなかで、全体を見る価値観、方法をどこまで持っているのかと思う。下手をすればその目標だけをやって、他は見ないという教育であれば困る。

委員：SDGs について、環境省のマニュアルにあるように、全ての項目を達成するようになっている。企業は、何年後には何をするというロードマップまで作っている。基本的にはしっかりと全てをやっていくと認識していると思う。

委員長：活発にご意見をいただいて、感謝する。この件は整理してその結果を待つということではよろしいか。

<p>議題 4</p>	<p>各委員：了解した。</p> <p>4 その他 議事要旨の運営委員名の標記について</p> <p>事務局：委員からの意見で、議事要旨に発言者の氏名を明らかにすべきではないか、開かれた協議会は、ここからではないかというものである。事務局としては、運営委員会が何を協議し、何が決まったかということを議事要旨として、会員に知らせ、記録し、残しておくことが大事であり、誰が発言したかということはないと考えている。運営委員の意見を聞いて、対応したいと思っている。</p> <p>委員：この意見は私だが、事務局の今の説明を補足したい。学習課の意見が事務局として上がっており、それもおかしいと付け加える。</p> <p>委員：委員名の標記はいらないと思う。運営委員内で誰の発言か分かっていたらいいのではないか。</p> <p>委員：委員名の標記に反対である。発言者は当然それに責任を持つが、それが公表されることによって、現在の SNS の発達を思うと、気にいらぬ考えに対し、ヘイトのような個人攻撃になるかもしれない。その人がどこに所属しているかを探するのは簡単で、そのような攻撃に対し、どのように責任をもつのか。安全性を守れないと自由に発言できないと思う。</p> <p>委員：私も反対である。みんなでフリーに話し合っ、決まったことを皆さんに知らせるということは何が問題なのか。あえて危険を冒すより、決まったことを公表することで良いのではないか。</p> <p>委員：私も他の委員と同意見で、公表しなくていいと思う。</p> <p>委員：私の参加した審議会などでは、それぞれ名前の取り扱いが違う。例えばファシリテーターが、誰が言ったかは、分からないような書き方をし、意見の透明性とか公平性は保たれる場合もある。ホームページをご覧になる方が、協議会関係者の方が多いならば、運営委員会の出席者を入れるということはあってもいいかと思う。</p> <p>委員長：では、発言者の氏名は公表しないということではよろしいか。</p> <p>各委員：了解した。</p>
<p>報告</p>	<p>【報告】</p> <p>1 各プロジェクト報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステークホルダー活動推進プロジェクト <p>事務局：8月29日に「ツキイチの集い」実施。現在 YouTube でも公開されている。次回は10月30日に「まちロゲイニング」が小倉南区北方地域交流センターで実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランディングプロジェクト <p>委員：未来パレットに連載してきたものを、「北九州 ESD・SDGs 物語」として一つの冊子にまとめた。これを作った理由は、今年環境教育学会にあわせ、北九州の SDGs らしさを、公害克服から環境教育、そして ESD という一連の流れを、協議会の人間として語り継いでいくことが必要と思ひ、テキストのような形で作らせていただいた。</p>

その他	<p>委員：素晴らしい冊子を作っていただき、近年にないほど感動した。感謝の気持ちお伝えしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成発掘プロジェクト <p>委員：ミーティングを、9月1日に15名で実施。対面で8回目の「おしゃべり工房」を9月25日に予定していたが、緊急事態宣言が延長になり実施できなかった。今度ミーティングを行い、「おしゃべり工房」実施についての話をしていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究国際プロジェクト <p>委員：9月9日にミーティングを実施。2021年のスタディーツアーについて、名前をスタディセミナーに変更し、幅広い方が参加できるように検討している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントプロジェクト <p>委員：12月2、3日「北九州ゆめみらい」、11月20、21日の未来ホテルデー、11月魚町の街ゼミに参加予定。</p> <p>2 事務局からの報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、市民センターへの出前講座 北九州大から5名と、西南女学院大学から2名の合計7名の学生が講師として、10月19日の貴船市民センター他幼稚園での実施に向けて、一生懸命頑張っている。 ・団体会員活動内容（令和2年度）の配布 会員同士の活動内容が分からないという意見があったため、団体活動内容について冊子にまとめ、分かりやすいと好評である。しかし、未提出の市民団体やNPO等については、その活動内容がわからないため、特に、運営委員の皆さんが所属している団体については、率先して協力して提出していただきたい。 ・インドネシア・スラバヤ市とのオンライン環境ワークショップ 9月23日にアワードを受賞した福岡教育大学附属中学校と本城東幼稚園が発表。 <p>3 ESD-J オンラインセミナーについて</p> <p>委員：ESD-Jの各地方の担当員が、オンライン企画しているが、10月23日、13時～15時を九州地区が担当することになった。テーマは「国際×ユース」で、前半には、北九州ESD協議会と韓国のRCEとの繋がり、今まで行ってきた取組を述べる予定。第2部はソウルに語学留学している北九大の学生と現地RCEからの中継レポートという形式で進めている。</p> <p>【その他】</p> <p>「まなびとESDステーション」の臨時閉館について</p> <p>事務局：緊急事態宣言のため今月末まで「まなびとESDステーション」は臨時休館をしている。事務局は火曜日から土曜日の9時から18時まで運営。</p>
	令和3年度 第3回運営委員会
開催予定日	オンライン or 北九州まなびとESDステーション